

平成 25 年 10 月 24 日

各 位

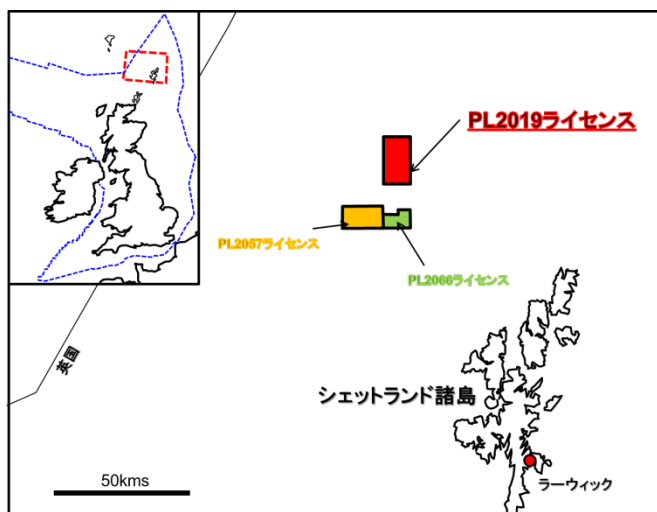
会社名 国際石油開発帝石株式会社  
代表者名 代表取締役社長 北村 俊昭  
(コード番号 1605 東証第一部)  
問合せ先 広報・IR エグゼクティブ・マネージャー 橘高 公久  
電話番号 03-5572-0233

英国 第 27 次探鉱区公開入札における探鉱ライセンスの追加取得について

国際石油開発帝石株式会社（以下、当社）は、英国のエネルギー会社であるセントリカ社の子会社Centrica Resources Limited（以下、セントリカ社）およびノルウェー王国の大手石油会社であるスタットオイル社の子会社Statoil (U.K.) Limited（以下、スタットオイル社）とともに、2012年10月に英国で実施された第27次探鉱区公開入札に共同で参加し、2つの探鉱ライセンス<sup>(※)</sup>を取得しておりますが、このたび追加的に探鉱ライセンス（P2019ライセンス）を取得しましたので、お知らせいたします。

<sup>(※)</sup> P2057ライセンス（214/28cブロックおよび214/29cブロック）及びP2066ライセンス（214/30bブロック）。かっこ内は、探鉱ライセンスを構成するブロック名。

今回追加的に取得したP2019ライセンスは、英国シェットランド諸島北西沖合約60kmにあり、既に取得した2つの探鉱ライセンスの北方に位置します。既に取得した2つの探鉱ライセンスと同様、当社はP2019ライセンスの30%の権益を有し、35%の権益を保有するセントリカ社がオペレーター（操業主体）を担当し、残る35%の権益はスタットオイル社が保有します。今後、地震探鉱データの解釈作業を実施し、新たな油・ガス田の発見に向け、プロジェクトを鋭意遂行してまいります。



ライセンス位置図

# 国際石油開発帝石株式会社

## INPEX CORPORATION

英国シェットランド諸島沖合は、英領海域の中で探鉱作業が十分に実施されてきておりませんでした。近年、油・ガス田の発見が有望であると期待されており、探鉱作業が活発化している海域です。既に取得した 2 つの探鉱ライセンス同様このような海域に位置する P2019 ライセンスにおいても、今後の探鉱作業により新たな油・ガス田の発見が期待されます。

当社は、今後も INPEX 中長期ビジョンに掲げた当社の中長期的な成長目標のひとつである「上流事業の持続的拡大」のため、有望地域における探鉱活動に積極的に取り組んでまいります。

なお、本件による当社連結業績への影響は軽微です。

以上

### < 鉱区の概要 >

	既取得探鉱ライセンス		今次取得探鉱ライセンス
ライセンス名	P2057 (ブロック名 : 214/28c、214/29c)	P2066 (ブロック名 : 214/30b)	P2019 (ブロック名 : 214/25)
鉱区面積 :	約 150 km <sup>2</sup>	約 68 km <sup>2</sup>	約 195 km <sup>2</sup>
水深 :	300-700m		
鉱区位置 :	離岸距離 約 60 km、ラーウィック (シェットランド諸島内の都市) 北西方約 100 km		
権益比率 :	セントリカ社 : 35% (オペレーター) 当社 : 30% スタットオイル社 : 35%		

### < セントリカ社の概要 >

セントリカ社 (1997 年設立。本社英国) はロンドン証券取引所に上場する企業から構成される FTSE100 社の上位 30 社に位置し、英国および北米にてエネルギービジネス (ガス供給事業の他、石油・天然ガスの開発、生産、輸送の上流事業及び発電事業等を展開する総合ユーティリティ企業) を展開する。